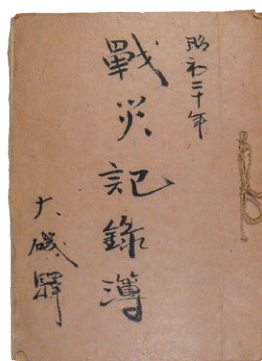


今わたしたちが考えたい戦争のこと

大磯町郷土資料館 終戦80年企画展

資料と証言に見る

大磯と戦争



2025年8月2日(土) ▶▶▶ 10月5日(日)

休館日

●毎週月曜（祝日を除く）

※8/12・9/16・9/2・10/1 休館

開館時間

9:00 ~ 17:00 入館無料

※入館16:30まで

会場

大磯町郷土資料館 企画展示室

担当学芸員による展示解説

日にち 8/15(金)、8/30(土)、9/20(土)

時間 いずれも13:30~30分程度

場所 企画展示室 申込不要

担当 富田 三紗子 学芸員

長谷川 明香 学芸員

大磯町郷土資料館

〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯446-1

県立大磯城山公園内 tel 0463-61-4700

<https://www.town.oiso.kanagawa.jp/oisomuseum/>

- ・電車 JR東海道線大磯駅（徒歩約30分）
- ・バス 大磯駅～城山公園前（徒歩約5分）
- ・車 小田原厚木道路：大磯インター（約5分）
西湘バイパス：大磯西インター（約2分）



資料と証言に見る大磯と戦争

大磯町郷土資料館は、開館以来、地域の資料として戦争に関する資料を収集してきました。終戦から80年が経ち、戦争を体験された方が少なくなっている中、これらの資料は、今を生きる私たちに戦争の悲惨さと平和の大切さを伝えています。

本企画展では、資料と、戦争を体験された方の証言から、大磯という地域にも確かに存在した戦争を紹介します。現在でも世界では、戦争や紛争が絶えません。終戦80年という節目の今だからこそ、戦争や平和について考えてみませんか？

大磯と空襲

太平洋戦争の際、アメリカ軍による空襲が日本全土を襲いました。大磯では、1945年（昭和20）7月16日に起きた平塚空襲の被害が大きく、その他にも大磯駅舎が焼夷弾などの被害を受けました。



空襲で投下されたアルミ箔テープ



焼夷弾



図画の教科書



消火弾



ゲートル

戦時下の暮らし

第二次世界大戦は、総力戦体制のもと、ありとあらゆる国民生活が統制を受けました。物資の不足や空襲への備え、教育内容の変化など、人々の生活を大きく変えました。



防衛食容器（缶詰の代用品）



陶製の鏡餅

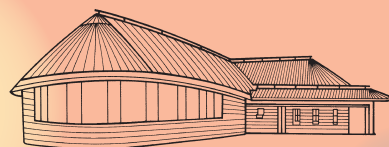
旧吉田茂邸にて開催中！

企画展「吉田茂と振り返る終戦80年」

2025/5/2（金）～2026/3/31（火）

こちらもぜひ、ご覧ください！

* 画像は全て大磯町郷土資料館所蔵



大磯町郷土資料館
Oiso Municipal Museum